

歴史探訪

クラブ

其の
176

History Inquiry Club



文化財課 ☎ 27-1720
(博物館) FAX 22-2028

川澄徳次と和算

皆さん、算数や数学は好きでしょうか。私は大嫌いで、学生時代は数学という教科の存在をのろつたものです。そんな私や皆さんが習う数学は実は明治時代の初めに西洋から導入されたもので、明治以前にはまったく別体系で発達した計算法が日本には存在していました。

「和算」と呼ばれたその計算法は、はじめは、測量や暦法などの実用に用いられましたが、江戸の中期ごろからは実用の範囲を超え、人々の娯

楽として親しまれるようになりまし
た。和算の楽しさに魅せられた人々
は、自ら考えた問題を出し合い切磋
琢磨するうちに、同時代の西洋の数
学者に匹敵する、新しいテクニク
を次々と発見していきます。

田原においても和算の魅力に取り
付かれ、和算の世界にどっぷりと浸
かった人がいます。自由民権運動の
活動家であった川澄徳次（1859
～1911）は、田原出身の和算家
としても知られています。徳次は藩
校の成章館で和算に出会い基礎を学
んだ後、豊橋の塾まで歩いて通い、
学びを深め、最終的には新城にある
和算の広瀬祐貞塾の塾頭となりました。
写真（下）の和算の問題も川澄
が作ったものです。

さて、写真の問題ですが、自分な
りに解こうとしたのですが、結局提



●川澄徳次の肖像

示されて
いる答え
にはたど
り着けま
せんでし
た。幕末
期から明
治初期の
和算家の
作った問
題の中
は、円の

内接円に
関連する
出題が多
くあり、
この問題
もその流
行にのっ
つてい
るものか
もしれま
せん。

この問題
がつくら
れた時期
からさ
かのぼる
こと5年
、明治5
年の学
制発布に
よって、
学校教育
において
和算は廃
止され、
新たに洋
算と当時
呼ばれた
西洋数学
が導入さ
れます。同
時に江戸
の人々が
親しみ育
んだ和算
という文
化は本格
的に役割
を終え、
洋算とい
う近代化
に必要な
一種の技
術に取っ
て代われ
ます。川
澄もこの
時期に小
学校教師
となり、
和算への
こだわり
を捨て、
小学校で
洋算を教
えること
となります。

洋算は何の抵抗もなく川澄を含む

●川澄徳次が作った和算の問題

全有如圖全圓内容甲乙丙丁一十六圓
只云丁圓徑一十寸問乙丙
圓各如何
答曰 乙圓三十寸
丙圓二十寸
術曰置丁圓徑倍之得丙
圓徑又置丁圓徑三之得乙圓徑各合問

明治七年九月三十日
廣瀬祐貞門人
三河 川澄徳次 著

日本の人々に受け入れられました。
なぜ、人々が洋算への適応に簡単に
成功したかについて不思議に感しま
したが、和算によって育まれた、数
的教養が下地としてあったからとい
えそうです。

そう考えてみると、一見、旧時代
の産物としてただ切り捨てられたよ
うに見える、和算のような文化も、
日本が近代を迎えるうえで、基礎と
して大きな役割を果たしたといえる
のではないのでしょうか。江戸の人々
が親しんだ和算に思いをはせなが
ら、苦しい数学の課題をこなすのも
一興でしょう。

(山本)